

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	にこにこ園焼山			
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～	令和7年11月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～	令和7年11月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月8日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化していない。	毎月ミーティングで各職員がアイデアを出し合い活動内容を決めている。	ご利用様の反応や意見を聞きながら新しい活動プログラムに反映させる。定番のプログラムではルール等を改良していく。
2	療育スペースが広い。	活動プログラムは広い空間を意識して構成や配置を行っている。また定期的に体を動かす内容にしている。	ご利用様の意見を取り入れながらスペースを活かした活動を行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や地域のこどもとの活動の機会が少ない。また地域に開かれた事業運営も不十分と感じている。	利用児童の特性や安全面への配慮から、事業所内での活動が中心となっており、地域の児童との交流機会を設けることが難しい状況がある。	地域の児童館や公共施設のイベント等の情報収集を行い、参加可能な活動について検討していく。また、地域行事や社会資源の活用など、無理のない範囲で地域との関わりを持つ機会を模索していく。
2			
3			